

デイ・サービスセンターコーナー



勝利の微笑はいくつになってもさわか

今回は、五月に開催された輪投げ大会の様子と、デイ・サービスセンター利用者の家族の方からの声を紹介させていただきます。



おいしい弁当たべてもうひと頑張りすっぺー

これが最高得点賞のプレー！
とても九十歳とは思えない



- 結果報告**
- 団体戦 優勝
 - 第二位 菊地三郎さん
 - 第六位 布施こうさん
 - 最高得点賞 菊地三郎さん

結果報告

五月十三日、置賜生涯学習プラザにおいて第二十四回置賜地区輪投げ大会が開催されました。今年度は、十王・鷹山地区の皆さんが参加され、その結果、デイ・サービスの部団体戦で、見事優勝を飾りました。また、個人戦においても健闘し、二人が入賞を果たすなど、好成績を収めました。

今日はお風呂日

Aさん

私のおばあちゃんは、リウマチのため寝たきりの毎日です。デイ・サービスには平成五年六月よりお世話になり、今日に至ります。

デイ・サービスの皆さんが、明るい笑顔で迎えに来て下さり、「お風呂入りに行くよ」と、連れて行ってくださいます。近代設備の整ったお風呂に、寝たままで頭の先から足の先まで満遍なく洗っていただき、一皮も二皮もむけたようになり、色白のおばあちゃんがより一層きれいに、見違える程つやつやの顔で帰ってきます。職員の方には、優しく丁寧に接していただき、本当にありがとうございます。全面的にサポートして下さることで、月一回の利用も待ち遠しく思っています。



利用者家族の声

我が家のばあちゃん

Fさん

横文字に疎い私は、デイ・サービス、シヨートステイという言葉をかまか理解できなかった。でも今となっては、それが当然の事のようにおばあちゃんをお願いしている。

「ばあちゃん今日よ、大っきなバスが来て乗せてくれるなあ。若い男の人が迎えに来てっから行かんねがらなあ。」と、その日の朝は何となく忙しい。でも喜んで迎えるようだからホッとします。そして、迎えに来られた職員の方の優しい対応で、いつの間にか特等席へ座らせてもっている。

本当に今は福祉のありがたさを身を持って体験しています。お年寄の世話、それは自分一人ではできないことではあります。皆さんに支えられながら、家族は家族なりの世話があると思います。子供に還る、ばあちゃん、九〇歳を過ぎた母に、六十五歳を過ぎた息子が禿げた頭をつき出しなでてもらっている姿を見た時、介護の大変さも忘れ最高の幸福を感じ、もっともっと生きて欲しいと思うのです。

趣味のコーナー



高橋 良二 (八十一歳)

コイン手芸、文化ししゅう、パズル等いろいろな手芸に挑戦し、行なっています。一番気に入っているのが、この二つの作品です。その他にも、植物が好きで、さまざまな花の越冬に成功させています。

いきがいです！



高橋 芳 (九十歳)

刺し子をなされている時の芳さんは、時間がたつのも忘れ、熱心に取り組んでおられます。「針目おつきくてよ。」と、言いながらも、若い職員には真似の出来ない、すばらしい作品ばかりです。

クラブ紹介

(御詠歌クラブ)



白光園御詠歌クラブは、短い期間ではあっても、生活を共にし、永眠なされた方々を偲び、入所者、職員、そしてその御家族の平安を願って、是非御詠歌を覚えたいと、入所者の強い希望があり平成二年四月に発足しました。圓光寺(関寺)の御住職であられる故佐藤正現氏を講師にお迎えし、三宝和賛からお習いしました。平成二年七月には、園庭に建立されている白寿観音の御詠歌もつく



っていたとき、かたわらに立派な歌碑も出来ました。現在は瑞岩寺の御住職の奥様をお迎えした月一回の練習と、入所者の自主的な練習を行っております。そして、お彼岸・白寿観音祭・お盆の万燈供養などにはクラブ員で御詠歌を唱えます。特にお盆の白光園万燈供養は、別府園長の読経とクラブ員の御詠歌で、同輩の霊を偲ぶことにしております。又、毎年、常安寺の万燈供養会にお招きいただき、共に厳粛な気持ちになって帰ります。